

教育図書研究調査事業

会員の調査研究を学習資料に活用します

- (1) 長野市上水内郡地図作成
- (2) 教材データベース作成
- (3) 「わたくしたちの郷土」作成



生涯学習支援事業

施設貸与 ○長野上水内教育会館 ○更級教育館

実施内容

- ・会員や教職員の会議、研究会、企画展等への貸与
 - ・一般地域住民への貸与（有料）
- ※ 教育関係の場合は、土日祝日も利用できます。

他団体との共催事業

長野上水内のリーダーとなる児童生徒の育成

- 1 生徒会サミット：① 8月26日（土）参集 ② 2月7日（水）オンライン 中学校校長会と共催
- 2 わくわくリーダーズながの：年6回 同好会による企画 長野市教育委員会と共催

教育会を知る、活用する、交流する、創り上げる

会報… 教育会の事業の様子や会員の声をお届けします。（年3回発行）

会誌… 会員の実践と考えを通して、教師としての生き方を考える内容となっています（年1回発行）

沿革史… 周年の記念誌作成を目標に、教育会のあゆみ、夏季大学の歴史など記録をまとめています。

HP… 事業内容、研究のあゆみ、同好会の活動、ブログ、教育会ギャラリー（児童生徒の書写書道・美術・科学研究などの作品掲載）会議室使用状況、各種アンケート form など教育活動に役立つ情報を掲載しています。会員ページはID/PWが必要です。HP▶

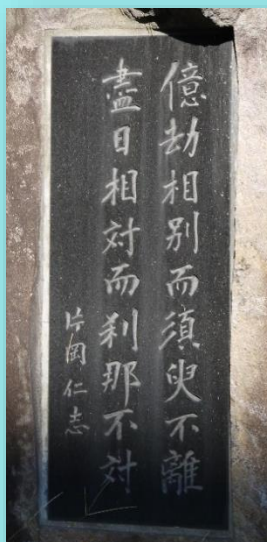
教材データベース… 授業づくりに役立つ郷土の写真・資料が満載。HPから入ってください。

YouTube アカウント… Ed カフェ長水、夏季大学講座等をYouTube配信します。

MAXHUB・Zoom アカウント… 同好会や研究会の講演会に貸与します。ご活用下さい。



私たちの道標



「おくごうあいわかれて しゅゆもはなれず
じんじつあいたいて せつなもたいせず」

会館南側に建てられている碑です。長野上水内の教育の根源をご指導いただくためにお招きした京都大学名誉教授の片岡仁志先生の揮毫によるもので、大燈国師の言葉です。

億劫：永遠と思えるほど長い時間

須臾：認識できないほどわずかな時間

盡日：一日中ずっと

刹那：とても短い瞬間

（仏教の概念で最小の時間）

人格、人間と人間の関係、無、愛について述べられています。

哲学同好会で極めてみましょう。

入しやすい会費

○ 正規教職員 年額（円）

（本給×5/1000+50）×12ヶ月

○ 県費講師 年額 3,000円

○ 再任用職員 年額 2,000円

○ 市町村費職員 年額 1,500円

○ 育休中の職員 無料

長野上水内教育会する？

HP 最新の更新情報などが、QRコード

瞬時にお手元のスマホに届く連絡ツール

「スクリレ」登録を！



長野上水内教育会館（事務局） この看板が目印です⇒

〒380-0936

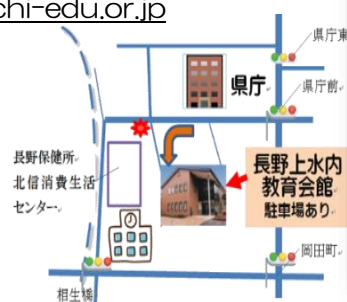
長野市中御所岡田町15-5

電話（026）226-2458 FAX（026）226-1854

E-mail: jimukyoku-nkkyoikukai@kminochi-edu.or.jp

HP: http://www.kminochi-edu.or.jp/

休館日：土・日・祝日・水曜日午後1時以降



更級教育館

〒388-8006

長野市篠ノ井御幣川1201

電話/FAX（026）292-0419



令和5年度

事業案内



教育に携わる方ならどなたでも入会できます

＜教育会主題＞

「自律した学習者の育成～学びのその先へ～」

わたしたちのねがい

「自ら求め、人を知り、人とつながり 学び続ける」

① 教師としての生き方の根幹を問い、その専門性を高め、共に学び続ける教育会

② 家庭・地域との連携や生涯学習を進め、協働して教育力向上を図る教育会

一般社団法人

長野上水内教育会

館銘碑 揮毫 奥村秀雄 先生

研究調査事業 研究調査委員会

令和5年度の重点

- 1 長野市教育センターとの共同研究
教科研究部7委員会(国語、社会、算数・数学、理科、外国語活動・英語、体育、道徳)
- 2 新設「エデュケーションオンラインカフェ長野上水内」(Edカフェ長水)
「埼玉大学教授 岩川直樹先生 信濃教育会会長 武田育夫先生と語ろう!」
- 3 原則授業公開：年間約70本 公開期間6月～1月
1委員会6名 授業力向上

- (1)教師力向上部…悩みや工夫を語り合い、研修の企画などを通して、同僚性を育てます。
全4委員会「共育塾企画運営」「Edカフェ長水」「楽しい授業と学級づくり(小)」「わかる授業と学級づくり(中)」
- (2)教科研究部…小中連携や互いの実践に学ぶ合うことを通して、授業力を高めます。
全13委員会「国語」「社会」「算数・数学」「理科」「生活科・総合的な学習の時間」「音楽」「図工・美術」「体育・保健体育」「家庭科・技術家庭」「外国語活動・英語」「道徳教育」「特別活動」「特別支援教育」
- (3)特別企画部…地域素材の教材化や教育会の足跡を刻む活動を通して、専門性を高めます。
全10委員会「デジタル広報」「科学展」「図工美術展」「書写書道展」「教材データベース」「地図作成」「社会科資料」「会報編集」「会誌編集」「教育会沿革史」

研究助成事業

- 1 視察派遣補助
 - ・日本連合教育会研究大会山口大会(8/17,18)
 - ・信濃教育会総集会更埴大会(7/1)
 - ・信州教育の日・宮田大会(11/18)
- 2 研修補助(視察研修含む)
 - ① 個人・グループ研修補助
 - ・個人または1グループ 3万円 60名程度
 - ② 同好会補助, 同好会等県大会補助
 - ・2万円+ (1,200円×会員数)
 - ・長野上水内地域での県大会以上 3万円以内
- 3 支会活動補助
 - ① 支会研修補助 10万円+250円×会員数
 - ② 支会講演会補助 3万円
- 4 同好会の活性化
 - ・同好会実務担当者会の実施
 - ・「わくわくリーダーズながの」の企画運営

初任者研修会 市教委と共催 4月11日(火)

初任者の皆さん、ようこそ長野上水内教育会へ！
教職はつながりです。集い、語り、学び合いましょう。

冬季大学 9月～2月

これまで様々な分野で多岐にわたり行われてきた諸研修を、パッケージ化して示すことにより、多くの会員が自身の教師力を高めるための研修の場です。共育塾、講師研修会、哲学対話、各同好会の講演会、研修会などを「冬季大学」と位置づけます。

講演講習事業 ハイブリッド方式

総集会 5月13日(土)午前

演題：「自律した学習者の育成～学びのその先へ～」

講師：上智大学教授 奈須 正裕 先生

こたえのない学校代表理事 藤原 さと 先生

信濃教育会会長 武田 育夫 先生

日本の教育におけるアイデンティティ形成と
西欧諸国の教育におけるアイデンティティ形成の
共通点と相違の視点から考えます。

鼎 談

正解主義と同調圧力を克服し、すべての
子どもを自立した学習者へと育て上げる
方途の視点から考えます。

授業改革に取り組んでいる学校の事例紹介、
授業を変えていくためのアプローチはどう
したらよいか 何をどう変えていけばいい
のか考えます。

教育懇談会 8月5日(土)午前

講師：成城中学校・高等学校

前学校長 栗原 卯田子 先生

演題：「さまざまな学校経験こそわが財産」

「都立高校改革推進計画」の下で都立高校の閉校、都立初
の中等教育学校完成、その後の「私立伝統男子校」の活性化な
ど、校長として関わった学校改革の経験を語ります。長野上
水内の学校教育への参考となれば幸いです。

懇親会 8/5(土)16:00～ ホテルメトロポリタン長野

講師研修会

① 5月19日(金) ② 11月13日(月)

研修の機会が少ない講師や支援員の先生方のための研修会
です。ニーズの高いテーマを設定した講座を開設します。共
に学び、日頃の悩みも語り合いましょう。

哲学対話 2月17日(土)午後

問うこと、考えることの自由 多様な人々との対話 自己更新を目指す

講師：東京大学大学院教授 梶谷 真司 先生

演題：「学びと哲学対話」

哲学対話は近年、新学習指導要領に
ある「主体的・対話的で深い学び」と
の関連で注目されています。しかし哲
学対話を学校に導入するには、どのよ
うな注意や工夫が必要でしょうか。2
回目となる今回は、それについて考え
ていきます。

夏季大学 7月28日(金)・7月31日(月)・8月1日(火)

<第1日目> 7月28日(金)

第1講座(教育)

演題：「自分を解放するための人権教育
～部落問題学習を通して～」

講師：土田 光子 先生

(大阪多様性教育ネットワーク共同代表)

第2講座(哲学・教育)

演題：「民主主義の土台としての学校づくり
～学校に“対話の文化”を～」

講師：苫野一徳 先生

(熊本大学教育学部准教授)

弘化4年(1847)のM.,4の善光寺地震から
176年目の今年、信更の涌池、水篠橋付近、久
米路橋、断層ができ洪水に襲われた小松原と伊
勢社、その復興過程でできた全国2番目の学校
である古森沢日新館と川中島小学校を訪ねま
す。

自然の中で「哲学ランドアート」を体験したの
ちに、屋内でスタンダードな哲学対話を行います。
自然の中で手足を動かすと、心もほぐれて安心し
て話せます。クイズを行ったり互いに質問しあつたり
して作品を味わいます。ランドアートで得た気づ
きや問いを、後半の哲学対話で話し合います。

長野県は昔、海だった！今回は裾花川沿
いで地層や化石、石ころなどの実物に触れ、
自然から学びます。そして、博物館を見学し、
大地の変化や災害、SDGs などのかわりを
考えます。

今年は、西条地区の白鳥神社、開善寺を特
別に拝観させていただきます。城下町松代の歴
史を再発見しましょう。

野尻湖は、伝九郎用水と古海用水の水で涵養
されていますが、出ていく水は池尻川だけで、この
水は多くの電力発電所を経由して用水として上越
で利用され、河川を横切り、遠方の田畑に届くよう
工夫されています。今回は先人が築いてきた持続
可能な野尻湖の水利用について考えます。

演劇のタベ

7月31日(月) 18:00～19:30

一般公開 会場：長野市芸術館アクトスペース
俳優 水澤 心吾 氏「決断 命のピザ
～SEMPO 杉原千畝物語～一人芝居」

<第3日目> 8月1日(火)

第3講座(科学) 一般公開

演題：「生命を捉えなおす
～動平衡の視点から～」

講師：福岡 伸一 先生

(青山学院大学教授)

第4講座(文学・芸術) 一般公開

演題：「今、こだますとき
～みすゞさんのまなざし～」

講師：矢崎 節夫 先生

(金子みすゞ記念館館長)

長野市初任研の研修講座として参加予定
(1～9講座の自己選択)



「人権学習なんておもしろくないもの、なぜやるの?」と聞かれたら、また、「部落問題学習に取り組むにあたって不安や迷いがあります」と相談されたら、あなたはどうか答えになりますか。それはどこから生じる思いか、その根本から考え、どんな取り組みを創って
いけばいいのか、一緒に話し合っていきたいと思います。

これまで多くの学校と学校づくりをご一緒させていただく中で、私
の中で大きな確信になっていることがあります。それは、「よい学
校」には例外なく「対話の文化」があるということ。そんな文化や仕
組みは、どうすればつくれるのか? そして、学校教育の1番の本
質である「民主主義の土台としての学校」づくりはいかに可能か?
ぜひ、一緒に考えていきたいと思います。

<第2日目> 7月31日(月) 臨地講習

第5講座(歴史)

テーマ：「善光寺地震跡を訪ねる」

講師：宮下 健司 先生(長野市立博物館協議会会長)

第6講座(哲学)

テーマ：「哲学ランドアートと哲学対話」

講師：馬場 智一 先生

(長野県立大学グローバルマネジメント学部准教授)

第7講座(自然科学)

テーマ：「戸隠の地層から大地の生い立ちを学ぶ」

講師：田辺 智隆 先生(戸隠地質化石博物館研究員)

第8講座(歴史)

テーマ：「松代地区文化財探訪V」

講師：降幡 浩樹 先生(松代文施設等管理事務所課長補佐)

徳嵩 雄司 先生(松代文化財ボランティアの会)

第9講座(自然科学)

テーマ：「野尻湖の水はどこへ

～野尻湖の持続可能な水利用を考える～」

講師：近藤 洋一 先生(野尻湖ナウマンソウ博物館館長)

杉原千畝(1900～1986)は、日本
の官僚、外交官。第二次世界大戦中、
外務省の命令に反してトランジェット
ビザ(通過査証)を発給することで、
ドイツによる迫害から約6,000人の
ユダヤ人を救った。海外では、
センボ・スギハラ、「東洋のシンデレラ」
とも呼ばれる。俳優の水澤心吾氏が、
杉原さんの生涯を一人芝居で演じます。



杉原千畝氏

現在、私たちの周りには生命操作を巡る様々な議論がある。
これらを可能とする先端技術の通奏低音には、「生命とはミクロ
な部品が集まってできたプラモデルである」という機械論的生命
観がある。ルドルフ・シェーンハイマーは、生命が「動的な平衡
状態」にあることを最初に示した科学者だった。私たちが食べた
ものの分子は、身体を構成する分子と絶え間なく交換されつづ
けている。つまり生命とはプラモデルのような静的なパーツから
なりたっている分子機械ではなく、パーツ自体のダイナミックな
流れの中に成り立っている効果そのものなのである。この「動
的平衡」論をもとに、生命とは何かを改めて考察してみたい。

学生時代に出会った一編の詩に衝撃を
受け、その作者である童謡詩人金子みすゞ
の作品を探し続け、埋もれた遺稿512編を
発見。長年の努力の集積として『童謡詩人
金子みすゞの生涯』(JULA出版局)を執筆
し、童謡詩人、金子みすゞ記念館館長として
活躍中の矢崎先生が金子みすゞの世界を
お伝えします。



金子みすゞさん
写真提供：金子みすゞ著作権保存会